

令和7年度地元産業界等と連携した実践的PBLを含む授業科目等の開講

札幌国際大学	①	i. 連携している地元産業界等の組織名称	北広島市
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	①スポーツ人間学部スポーツビジネス学科 ②スポーツ人間学部スポーツ指導学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	当該プロジェクトは、北広島市と本学が包括連携協定を締結することにより、官民連携に加え、教育機関の知見や人材提供の実現と、将来的には民間企業も交えた産学官民が共同するプロジェクトを展開することを目標とする。中長期的に産学官民が共同するプロジェクトの展開を目標にする一方で、短期的には本学が有する知見と人材(学生)を提供し、同市が直面する諸課題を批判的かつ建設的に検討しつつ、その解決に向けた活動に取り組むことによって産学官民プロジェクト展開の一助となる知見を得る。 そこで本活動における学生の目的は、学外でのフィールド(北広島市)を活用したアクティブ・ラーニングを展開し、同市が直面する諸課題に対する資料を得ることである。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	当該プロジェクトでは、関連する活動を「北広島プロジェクト」と称し、学生主体の課題解決型プロジェクトとして展開する。基本的な活動内容は、以下の通りである。 ① 北広島市について文献調査および実地調査を実施する。 ② 課題の抽出とその課題解決に向けたアクティブ・ラーニングを展開する。 ③ 課題解決に向けた企画を立案し、企画書を作成する。 ④ 北広島市役所職員に企画書を発表する。 ⑤ 企画に対し、協議を重ね実施に向けて検討する。 ⑥ 企画の準備、運営を行う。 ⑦ 企画を振り返り、評価、反省、協議と報告書の作成を行う。 上記の活動に加え、既存イベントへの参加や昨年度の企画の継続開催についても協議を重ね、課題解決型プロジェクトを幅広く展開する。
札幌国際大学	②	i. 連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	人文学部心理学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	授業を開講する目的は、地域特性を踏まえた課題解決にある。札幌市清田区は独居世帯が多い地域であり、高齢者の生活上の困りごとの中には、介護サービスの対象外となる活動が少なくない。そのため、社会福祉協議会が支援に大きく関与しているが、ニーズに対して人的な供給が追いついていないのが現状である。そこで本授業では、若い世代が地域において活躍し、支援の担い手となることを目的としている。 昨年度から始動したプロジェクトでは、4年生が独自に依頼を受ける体制を整え、より多くの高齢者の困りごとに対応できるようになった。プロジェクト発足時から、長期的には大学発ベンチャーの設立を視野に入れて活動を進めている。中期的な目標としては、まず産学官民の連携を構築し、地域における持続可能な支援体制の実現を目指す。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	本プロジェクトは、本学が道内大学で唯一取得可能な園芸療法の資格を基盤とし、「心を耕す園芸活動を中心に、コミュニケーション力で地域とつながる地域貢献型教育プログラム」として展開する。学生主体による課題解決型の学びを重視し、地域と連携した実践的教育の場を提供する。 具体的な内容は以下の通りである。 1. 地域とのつながりに関する既存事例の文献調査 2. 清田区との協議を通じた課題の抽出と、その解決に向けたアクティブラーニング 3. 抽出した課題に基づく計画表の作成と、実践活動への役割分担 4. 4年生による独自の依頼募集に向けた広報活動(ポスター作成や連合町内会への周知) 5. 企画の準備と運営 6. 企画実施後の振り返りと評価 7. 次年度への申し送りおよび報告書の作成 さらに、突発的な依頼に対しては柔軟に対応するとともに、他のゼミ生や学年を巻き込んだ企画運営も視野に入れ、活動の幅を広げていく。
札幌国際大学短期大学部	公表内容	i. 連携している地元産業界等の組織名称	札幌市清田区
		ii. 当該授業等を実施する学部・学科	短期大学部 総合生活キャリア学科
		iii. 当該授業等を開講する目的	・課題解決演習: 1年次に学んだスキルを活かして、外部の企業、団体と協力し、長期間チームで協力して行うプロジェクトを通じ、計画力、スケジュール管理力を実践で試し、長期間メンバーと協働する体験を通じ学ぶ、学科の学びを実地で生かす機会として開講。 ・プレゼンテーション応用: 基礎で学んだスキルを活かし、取材と報告プロセスを学び、相手の心に届く方法を模索して、実技を通してスキルを高めるための科目。 ・ボランティア: 自分の持っている力、人のために使える時間を有効活用し、対象を広くとらえ、生涯にわたってボランティアやチャリティなどの活動に関心を持って参加できるよう実体験を通して学ぶ。
		iv. 当該授業等の具体的な内容	・課題解決演習: 教員の指導の下、目標を立て、1年かけて目標の達成のために活動し、その成果をまとめて発表する。外部団体または企業と関わり、打ち合わせを行い、活動に理解をいただき、協力をいただき、成果をまとめ、チームごとに学内掲示用ポスターを作成、まとめたプレゼンテーションを学期末に学内で行う。取り組みの成果とチームとしての動きを振り返る評価も行う。清田区に趣旨を理解していただき、イベント協力時のアンケートの実施許可や成果の共有などを行う。 ・プレゼンテーション応用: 基礎で学んだスキルを活かし、きよたスイーツのPRについてグループで課題を検討し提案を行う。清田区に協力企業への呼びかけ、斡旋、提案の評価を行う。 ・ボランティア: 定期的に情報交換を行いながら、様々な活動に挑戦する科目。学内でのボランティア活動として、きよたスイーツのPR販売を企画し運営。発展の可能性について区に提案する。